



## 3月例会報告

3月15日(日)クラブサービス委員会担当例会(根津委員長)を開催しました。

納涼例会に続く第2回目の野外例会で、11時30分から山梨中銀金融資料館を見学した後に13時よりビストロ葡萄'溜(どんぺり)で例会を行いました。



山梨中銀金融資料館は金融関係資料が豊富に展示されており、参加者は皆興味深く説明員さんのお話に聞き入っていました。



本物の貨幣を年代順に並べた貨幣の世界史に始まり、日本の通貨の変遷を山梨県の金融史を絡めながらとても丁寧にご説明頂きました。また聞くだけではなく、実体験コーナーでは50両、小判

千両、現在の紙幣1億円などの実際の重さを体感しました。ルーペを使い日本の印刷技術の高さを確認できるコーナーもありました。また甲斐武田氏の甲州金制度が江戸時代の貨幣制度のルーツになった話や甲州財閥の偉人の業績を紹介した展示、また山梨中央銀行の歴史を通じて山梨県の歴史を再認識する良い機会となりました。

場所を移して例会はビストロ葡萄'溜で行いました。会長挨拶では荒川会長が65周年記念例会準備のスケ



ジュールや役割を確認しました。諸報告では北条書記から東日本区大会に甲府クラブから1人でも多く参加したい旨の説明がありました。丹後会員からは65周年記念誌用原稿のお願い、金丸会員がご自身の選挙活動のお願いなどを行いました。今月の言葉は田中司郎会員が寄付や奉仕活動の大切さを説かれました。その後は食事に移り、美味しい料理をゆっくりと頂きながら会員相互の親睦を深めることが出来ました。(丸茂正樹)

## 3月役員会報告

日時:3月24日(火)PM6:30~8:30

場所:山梨YMCA

出席者:荒川、大澤、小倉、田中(司)、渡辺(隆)、仙洞田、廣瀬

### ●報告事項

▽3月例会について・・・出席者:金融資料館見学27名、例会26名 金融資料館は良かった。

▽次期クラブ会長・部役員研修会について・・・甲府クラブからは次期区、部、クラブ役員が大勢参加して有意義な研修であった。

▽65周年について・・・実行委員会でプログラム、記念誌の準備を進めている。

### ●協議事項

▽4月例会について・・・担当:地域奉仕委員会、65周年記念例会の準備例会とする。委員会別(65周年の役割別)に当日の役割分担の確認をしてもらう。

▽5月例会について・・・65周年記念例会とする。

▽6月例会について・・・渡辺隆次期理事の卓話、次年度方針を中心に話してもらう。

▽東日本区大会参加について・・・3月例会で十数名の参加確認をした。例会欠席者に確認をして、交通手段等を考える。

## 「新年度を迎えて」



新しい年度が始まり、それぞれのプログラムにフレッシュな顔ぶれが加わりました。特に学童保育には20

名を越える新しいメンバーが入会しました。みんな緊張した面持ちで、前からいるメンバーと無事打ち解けていけるか、不安そうにしています。しばらくは目が離せない日々が続きます。

全国各地のYMCAでは今、日本YMCA同盟が掲げた中期計画に基づきYMCAブランドの再生(リブランディング)というテーマで様々な取り組みがなされています。YMCAは世界を見つめ地域に根ざす団体として、「すべての者が一つになるために」という基本聖句を掲げて福祉社会を形成していくことを目的にしています。4月25日(土)には東日本地区YMCAの役員研修会ではそのことをテーマに阿部志郎氏を招いて横浜YMCAにおいて講演と討議が予定されています。

山梨YMCAでは三つのキーワード「多世代間交流」と「FOR ALL」、そして「ケアコミュニティづくり」を念頭にYMCAブランドの名の下に幅広い事業に取り組んでおります。それぞれの事業が時代と地域のニーズに応え、「そこにYMCAがあつてよかった」と感じてもらえる働きをしていきたいと願っております。(露木淳司)

## 次期クラブ会長・部役員研修会報告

3月7日(土)・8日(日)の両日、東山荘において、97名の出席を得て東日本区主催の次期クラブ会長・部役員研修会が開催されました。私は東日本区次期書記として出席しましたが、渡辺隆次期理事とともに、準備の段階から東日本区LT委員会の皆さんとプログラムについて協議に加わって来ました。また、ワークブックの原稿集め、参加者の出欠の把握等にも携わりました。

たまたま、渡辺次期理事、私とも、次期クラブ会長とし

### 次期クラブ会長 秋山 仁博

「東山荘」を地図で確認していたとはいえ、荒川会長と二人で、不安を抱いて出発しましたが、中央高速・富士五湖有料道路の解りやすい一本道で、予定時間より1時間も早く到着する事が出来ました。「東山荘」の環りには、近くに釣りの出来る池や、またハイキングなども楽しめる、緑豊かな環境の中に立派な研修施設が、何棟も建っていました。入口のロビーには、東京YMCAの古き建物から移された看板・暖炉・シャンデリアなどが、大事に現在も使用されていて、YMCAの原点を垣間見た気がして、身が引締まる思いで、研修に臨みました。渡辺次期東日本区理事の方針を聞いた後は、岡本元日本区理事から「ワイズのリーダーの心構え」を聞き、その後、各部屋に分かれて、各事業主任の説明がありました。

研修が終わると、久しぶりに大学の時以来の2段ベットのベットメイキングを体験しました。夕食後の部ごとの話し合いでは、お酒を飲みながらで、何を話したかは覚えてはみませんが初めて会った仲間と夜遅くまで付き合えた事は驚きでした。

今回一番感じた事は、甲府クラブの会員が活躍している姿と、一方では、ワイズメンの中にも、意外と保守的な会員も多いと感じました。もっと新しい事にチャレンジして行かないと、会員の減少をはじめ、各種活動の衰退にも繋がる様な気がします。渡辺次期東日本区理事の活躍を、大いに期待します。

### 東奔西走……

- ✓3月1日(日)、渡辺隆さん、武田さん、仙洞田さん、第19回東日本区大会実行委員会に出席(長野市・ホテル信濃路)
- ✓3月20日(金)、渡辺隆さん、京都アジア大会HCCに出席(京都YMCA)
- ✓3月31日(火)、渡辺隆さん、仙洞田さん東日本区常任役員会に出席(四谷・日本YMCA同盟)

て研修会に出た時の講師が元日本区理事の岡本尚男さん(京都キャピタル)で、その経験から、今回も岡本さんに基調講演をお願いしました。講演後、あるクラブの次期会長さんが「目から鱗です!」と言っているのを見て、十数年前の自分を思い出しました。

甲府クラブからは渡辺(次期理事)、二子石(次期区会計)、廣瀬(次期理事事務局長)、丸茂(同補佐=1日目のみ)、標(次期部長)、荒川(同書記)、小倉(同会計)、秋山(次期会長)、仙洞田の9名の参加でした。(仙洞田安宏)

### 次期あずさ部部長 標 克明

私はクラブ会長とあずさ部主査の時にこの研修会に参加し、今回で3回目の参加になりました。開会式の後、研修が始まり渡辺次期理事の方針をしっかりと聞き、その後の基調講演は、岡本元日本区理事の話で、ご自身の経験から「リーダーシップの大切さ」を聞かせていただき、あつという間の40分でした。

研修3では、次期事業主任がそれぞれ部屋を回って方針を説明していただき、次期部長としてその方針をいかにあずさ部の会員に伝え、実行できるか、考える研修でした。

夕食は10人ずつのテーブルで懇親を深めながら楽しく時間を過ごしました。食事の後はLT委員会が用意してくれた飲み物を手に各部に分かれて、さらに部内の懇親を深めました。その席では参加者の自己紹介と部長方針を、次期クラブ会長と事業主査さんに聞いていただき、貴重な意見をいただいて大変有意義な時間でした。翌日の研修が残っているのにもかかわらず、遅くまで話が盛り上がりました。

二日目は、前日より具体的な内容で研修がありました。特に分科会では部役員グループに出ましたが、それぞれ分からない事などを質問して理解しました。三度目の研修会でしたが、過去の2回よりも多くの勉強ができた研修会だったと思いますし、部長職の責任の重さに、改めて身の引き締まる思いでした。

### \*これからの行事予定\*

- 4月12日(日) 甲府駅北口まちづくり委員会指定管理5周年記念式典(北口よっちゃばれ広場)
- 4月17日(金) チャリティーラン実行委員会 18:00～
- 4月21日(火) 65周年実行委員会 18:30～山梨YMCA
- 4月28日(火) 4月役員会 18:30～ 山梨YMCA
- 5月9日(土) あずさ部評議会 岡島ローヤル会館  
甲府クラブ65周年記念例会(1P参照)





## 甲府クラブの歴史と伝統 を想う「今昔物語」(その6) 平原 貞美

### ▼日本区大会あれこれ

1948年、全国20ほどのクラブへ、奈良傳理事(4代)より、正式なる日本区大会の招集がかけられ、大阪YMCAで開催されたのである。甲府クラブのチャーターは2年後、クラブ、会員数の関係から関西方面での大会が盛大で、旅行すること自体めづらしい時ではあったが、甲府クラブは常に8~10名の会員が当初から出席しており、入会間もない私にも強い誘いに釣られ、次第に参加する楽しさにはまっていたようである。

現在と最も異なっていたことは、大会を通してノンアルコールだったことである。決して“飲んべえ”が少なかった訳ではない。そして最も楽しみな懇親会は、畳敷きの大広間で、各自お膳を前に座り、大宴会(?)が女将、女中さんが勢揃いしての挨拶で始められ、従業員らの地元踊りなどの他は特にアピールもなく、もっぱら食い気一筋に集中、満腹になってからのこれからがワイズならではの真骨頂の始まりとなるのである。つまり各クラブが素面(しらふ)で何か余興をする決まりで、それぞれが民謡や踊り(どじょうすくいあり)、クラシックコーラスなど様々で、その盛り上がりは大変なものであった。

ちなみに甲府クラブは、“勝沼や 馬子も葡萄を 食べながら”と題する寸劇で、市川規一初代会長他総出演であった。

そして終了すると各クラブは足早にそれぞれの部屋に集まり、女中さんに“お茶け”と称し、土瓶に熱燗の酒を持って来させ、夜の更けるのも忘れる楽しい酒盛りになり、お互いの絆を深める結果を生み出していた。

印象深い大会では、六甲山オリエンタルホテルからの夜景、白いタオルが茶色に染まった有馬温泉、山梨出身小林一三が創った宝塚での観劇、三河三谷温泉での早朝礼拝の奨励で、牧師でもない曾根康夫3代会長が、BFで北米大会に参加した市川、高野(本男)元会長三人に寄せた話は、まさに感動的なものがありました。

さらに驚いたのは、当時彦根クラブのチョビヒゲの中嶋達郎会員と市川初代会長とが、同じ歯科医同士ということで親しくなり、ワイズの友達方から来る「お・も・て・な・し」の心から、自宅に用意された二段ベッドを並べた部屋に、甲府クラブ会員(8人)が泊まることになりました。その後中嶋会員は、歯科医院を辞め、山口県山陽町の日本福音ルーテル教会牧師として身を捧げられました。

大会参加への交通はもっぱら鉄道であり、列車内での土瓶入りのお茶と各地の駅弁を食べ比べながらのおしゃべりは、これまた楽しい思い出として忘れることのできないものでした。

平原会員の「今昔物語その4」で触れられています、山梨YMCAの「つぼみぐる一ふ」を立ち上げた、奈良ノリ子様(元山梨YMCA総主事・奈良昂氏夫人)から、ご寄稿いただきました。

### 「つぼみぐる一ふのこと」(1) 奈良 ノリ子

1958年4月1日付けで、故夫奈良昂の山梨YMCAへの赴任が決まりました。1958年1月26日にそれに備え、私達は東京YMCAで挙式しました。私はそれまで勤務していた幼稚園教諭を辞し、当分保育から離れることを予想、保育関係の資料等を封印いたしました。

甲府市丸の内元第一生命の建物・山梨YMCAが夫の職場であり、私達の住居でした。近隣には小野善太郎牧師と岡本不二夫牧師の甲府教会があり、山梨英和学院附属幼稚園が同じ敷地内にあり、ミスグリバンクや何人かのカナダの宣教師の先生方がおいでになりました。ミスロバートソンは若手の宣教師で、YMCAでのバイブルクラスを担当して下さいました。私が保育を学んだのは、カナダミッションの宣教師が始めた東洋英和であったので、私達の周囲は何か懐かしさが漂っていました。

一年間はフリーで皆様との交わりの中で山梨に慣れ親しむよう努めました。甲府教会への主日礼拝出席、やがて教会CSへのご奉仕もするようになり、YMCAを会場とする矯風会の集会にも出席するようになりました。ハイYの若い人々との交流もあり、瑞牆山のワークキャンプにも参加しました。

ワイズメンズクラブの例会への参加でワイズメンの方々ともお親しくしていただきました。ワイズメンズのご家族には小さなお子様も大勢いらして、その中誰言うことなく幼児グループをとの声が出始め、私にその一端を担うようにとのことで計画案を立てることになりました。近隣にはすでに幼稚園があることから、迷惑のかからぬ配慮を第一と考え、当時甲府では3歳保育が行われていないことから、3歳児を対象としてお子さんを集めること、幼稚園でないことを示す—そこから「幼児の芸術園つぼみぐる一ふ」と致しました。(つづく)

### 4月 ハッピーバースデー

メ ン 該当者なし

メネット

根津 恵美 (14日) 石塚 朝子 (24日)

### 4月アニバーサリー

中澤 大・奈緒(8日) 二子石宣秀・千香(18日)  
大澤英二・祥子(29日) 山崎善当・明子(29日)  
金丸さぶろう・美香(30日)